

(別紙3)

着ぐるみ等の使用上の注意事項

1 搬入・搬出

- (1) 着ぐるみのサイズを考慮し、車両はワンボックス車両またはトラックで搬入・搬出をすること。
- (2) トラックの場合、着ぐるみ専用のダンボールごと荷台に積み込み、転倒防止のためロープで固定すること。ただし、雨天時は不可とする。
また、車両の関係で、段ボールを横にして積み込む場合は、段ボールの向きに注意し、動かないように固定すること。
ワンボックス車両などで、やむを得ず専用箱での運搬ができない場合は、柳井市内に限り、専用箱なしでの搬入・搬出もよしとするが、その場合は着ぐるみが汚れないよう、覆いをしたうえで、荷台にもシートを敷き、運転中に着ぐるみが動かないよう固定すること。また、積み下ろしの扱いは細心の注意を払うこと。
- (3) 専用箱からの出し入れの際には、両腕の空いたところを持つようにし、王冠はもたないようにすること。また、王冠は壊れやすいので、箱の中や外の物にあてたりぶつけないように注意すること。

2 装着前準備

- (1) 柳井市観光協会より提示された「ハレマル」装着方法（マニュアル）を熟読のこと。
- (2) ハレマルの装着、休憩用の控室を必ず用意すること。（囲いなど目に触れない状況が望ましい）また、控室の出入り口は、幅・高さ共に、180cm以上あること。
- (3) 準備品として、以下を用意すること。
 - ①シート：着ぐるみを保管する際、必ず下に敷いてください。
 - ②椅子：着ぐるみを着るときに使用します。
 - ③雑巾、バケツ：使用後は脚の汚れを取ってください。
 - ④保冷剤：夏場など暑いときにご用意ください。
 - ⑦消臭剤または抗菌スプレー：着ぐるみを着た後、着ぐるみのなかに吹き付けてください。表面、特に目などには吹き付けないこと。
 - ⑧扇風機：夏場など暑いときにご用意ください。

3 着脱するとき

- (1) 着脱の際は、関係者以外（特に子ども）の目に触れないよう注意すること。
- (2) 着用の際は、素肌が直接触れないように、長袖、長ズボン、手袋（軍手等）、タオルを着用すること。
- (3) 着脱の際は、着ぐるみを破損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。（活動するときも同様。）

4 活動するとき

- (1) 当日の会場、天候及び体調等を考慮して適宜休憩をとり、交代要員を配置するなど、無理のない活動計画を立てること。
- (2) 会場の気温等を考慮し、こまめに水分補給を行うなど、十分な暑さ対策を講じること。
- (3) 着ぐるみの活動は室内または舗装されている箇所とし、土、芝生の上を歩かせないこと。
- (4) 雨雪時は原則として使用を控えること。また、使用中に雨雪となった場合は、直ちに使用を中止し、使用後に清潔なタオル等で水気を拭き取り、十分に乾燥させること。
- (5) 視界が狭いため、活動の際は誘導者を付けること。ただし、足下等が危険な場合を除き原則として手を繋いでの誘導は行わないこと。また、幼児等にぶつかったり、倒したりする恐れがあるので、急に振り向いたり急に走り出すことは避け、転倒にも十分注意すること。
- (5) 「ハレマル」のイメージを保つため、品位を傷つけるような動きやポーズはしないこと。また、着用時は声を出さないこと。ジェスチャー以外で「ハレマル」からのメッセージを伝える必要がある場合は、司会者等が「ハレマル」から耳打ちされる形で代弁すること。
- (6) 誘導者は、着ぐるみをたたいたり、尻尾等をひっぱったり、抱きついたりする人がいた場合は、直ちに制止するとともに、再発防止に努めること。
- (7) ハレマルは王子という設定のため、「ハレマル」または「ハレマルくん」という呼び方で対応すること。

5 使用後のアフターケア

- (1) 消臭スプレー等を使用し、風通しの良い場所で、十分に乾燥されること。
- (2) 汚れた場合は、汚れを十分に落とすこと。
- (3) 屋外で使用した際は、靴底の汚れを必ず雑巾等で拭き取ること。
- (4) 破損したり部品を無くした場合は、速やかに柳井市観光協会に申し出ること。

6 その他

- (1) 型くずれしないよう、輸送や保管の際には取り扱いに十分注意すること。
- (2) 着用する者は、身長170cm以下、靴のサイズ26.5cm以下の者（女性が望ましい）であること。